
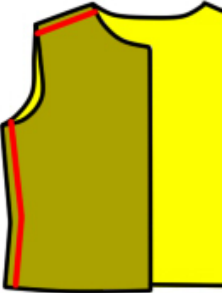
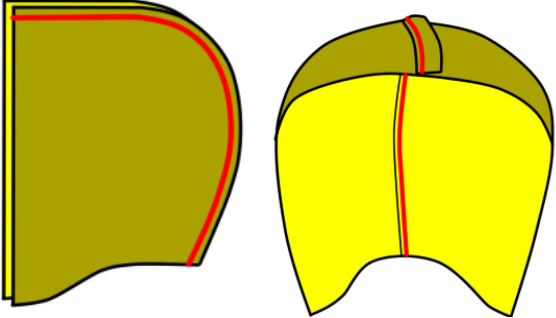
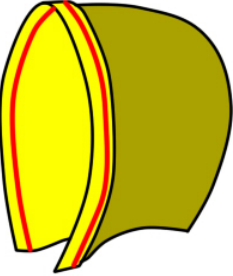
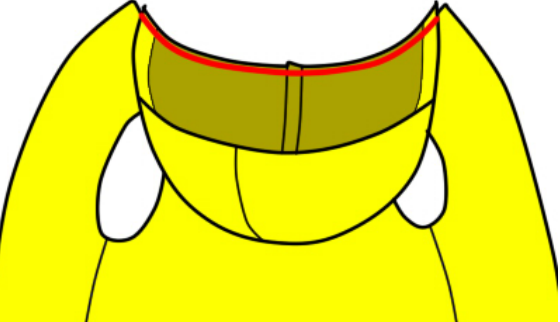
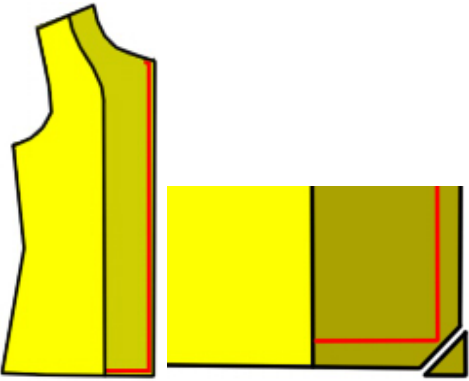
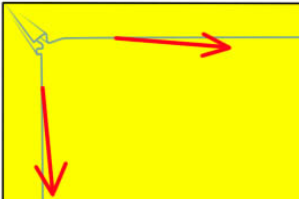

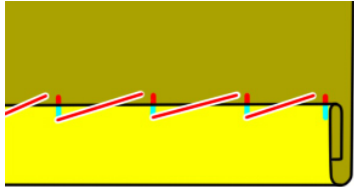
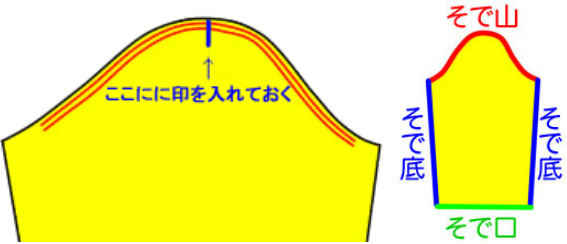
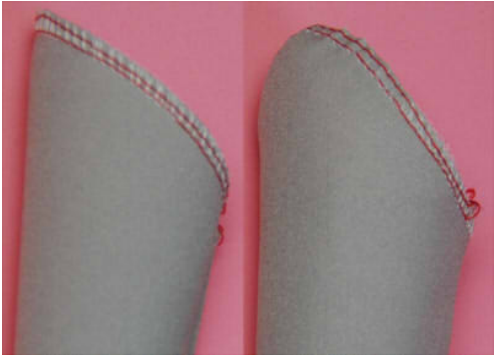
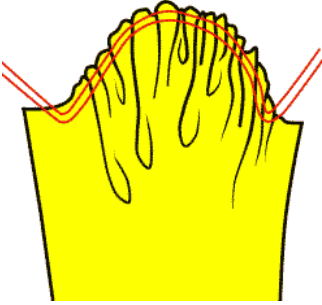
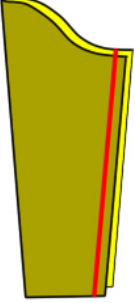
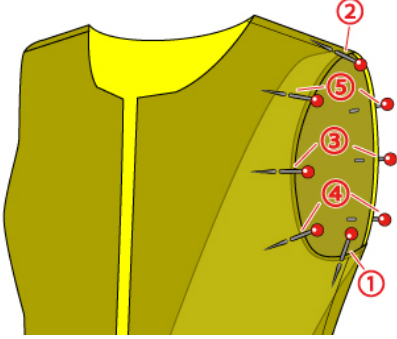
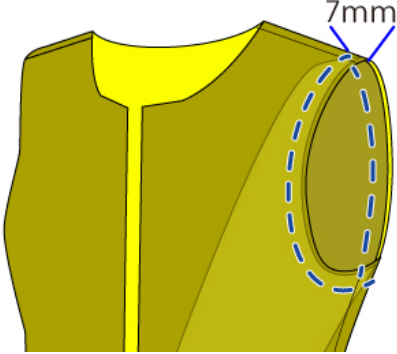
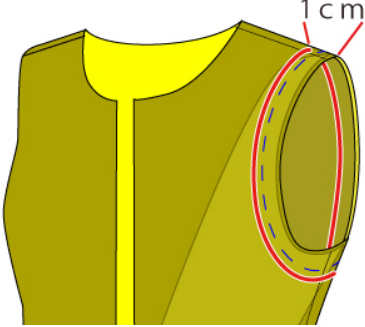
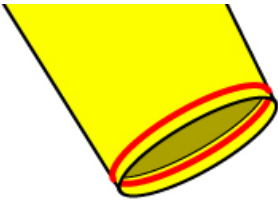

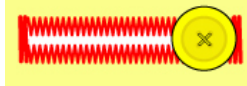


子供用シンプルコートの作り方

 <p>布の印のつけ方や接着芯の貼り方は縫う前の下準備で詳しく説明しているよ まだ見たことがない人は先に見てね!</p> <p>→ 縫う前の下準備</p>	<p>■ 表 ■ 裏 ■ 接着芯</p> <p>裁断した全てのパーツの端をほつれ止めをしてください。 型紙に指定された場所の裏に接着芯を貼ってください。 お洋服に模様や刺繍を入れたい場合はこの時点で入れておくと楽です。</p>
	<p>表が内側になるようににあわせ、<u>身頃</u>の肩と脇を縫う</p>
	<p>2枚のフードの生地を内側が表になるように縫います 縫い代をどちらか片方に倒して縫い目から2~5mm程度の所を表から縫って、縫い代を固定します。</p>
	<p>顔が出る所の縫い代を裏側にアイロンで折って、ミシンで縫います</p>
	<p>フードと身頃(胴体)のFNP、SNP、BNPの印をあわせてください 表同士が内側になるように重ね端から1cmのところを縫ってください。</p>

	<p>見返しをつける 表にした身頃に裏を上にした見返しを重ねる。 かどを落とす。</p>
	<p>えりの角や前見返しのすそ等表側に返したとききれいに角が出ない場合 中で縫い代がグチャグチャになっている場合が多いので、指を中に入れて、縫い代を角と反対側に軽く引っ張ってあげると中の縫い代が整って、角が出しやすくなります</p>
	<p>アイロンですその縫い代を折る。 縫い代の幅より0.3~0.5mm短めの所を縫う 裏の <u>見返しの端をまつておく</u>とより綺麗に裏の始末が出来ます。</p>  <p>まつりぬい。 表の繊維を1~2本すくい、折り返した縫い代を縫う。 0.5~1cmおきに同じように表の繊維を救いの繰り返し</p>
	<p>そで山にはそでを立体にする為に余裕が入れられています。 ココでギャザーを寄せておかなければ、そのままつけるとあまってしまう筈です。</p>
	<p>またそで山の高い細身のそではそのままつけると左の写真のように体に添わない形になるので、そでぐりより長くし、ギャザーを入れることによって丸みを出して立体的になるように作られているものもあります こうやって比較を見ると、ギャザーを入れる意味が分かっていただけだと思います。</p>

	<p>ギャザーを寄せたら裏の方の長く残しておいた糸だけを引っ張りギャザーを寄せてください。 (これを一度覚えておくとスカートやいろいろな事に応用がきくので、是非チャレンジしてみましょう！)</p>
	<p>糸調整を元に戻します 次に袖底を中表(縫い合わせようとする面が表同士になるようにあわせること)にし、赤い部分を縫ってください。</p>
	<p>そでは表側が見えるようにひっくり返してください。 裏返したままの身頃の中にそでを入れてください。 脇→肩→印という順に待ち針を刺してください。 そでの山のギャザーの糸を引っ張って長さを調整してください</p>
	<p>手縫いで端から7mmくらいのところを縫ってください 縫ったら待ち針ははずしてください。 全部を手縫いで作る場合はここは省略してください</p>
	<p>端から1cmの所を縫ってください。 縫い終わったら仕付け糸ははずしてください</p>

	<p>試着してそでの長さを確認して縫い代を中に折って縫ってください。</p>
	 <p>前合せにボタンをつけて完成です。 ボタンの穴のあけ方はミシンによって異なりますので、ミシンの説明書を参照してください</p>

必要な道具

表生地、接着芯、生地にあつた色の糸、ボタン

オススメの生地

・フリース

軽くて暖かく、ほつれにくいのでほつれどめの手間が省けますよ♪

上記のサンプル写真はフリース出作っています。

縫いやすく手に入りやすいですが、毛玉ができません。

・別珍

起毛生地(毛並みのある生地)なので高級感のあるコートになります。

毛並みのある生地は向きによって光沢が異なるので上下の向きに気をつけて使ってください。

順毛(上から下向きに毛の流れがある事)だと反射が強いので、白っぽく見えたりするので、逆毛(下から上向きになるように)裁断して使うといいですよ。

・コール天

厚みがあるので、冬場温かい。

別珍と同じく毛の向きがあるので前と後ろの胴体や、そでなどを上下を逆に配置して裁断すると、光の加減で色が違って見えるので注意してください。

・ポリエステルツイル

とりあえず安く縫いやすいものという方にはこちらをおすすめします。

中厚地の生地なので縫いやすいです。

市販の綿パンツは大体この生地を使っていることが多いです。

・カツラギ

厚地の綿生地です。

カッチリと重厚な仕上がりになります。